

活動紹介

バットハウスの
維持管理など



バットハウス整備

コウモリの
生態調査

観察会の実施
(7,8月)



観察会

コウモリ
解説展示
作成



解説展示を使ったレクチャー

クビワコウモリを守る会では
活動に参加して下さる方を募集しています！

【年会費】

会員（一般） 1,000円
会員（大学生以下） 500円
サポート会員 10,000円

クビワコウモリを守る会

【事務局】

メール：
info@kubiwakoumori.org

HP：
<https://kubiwakoumori.org/>

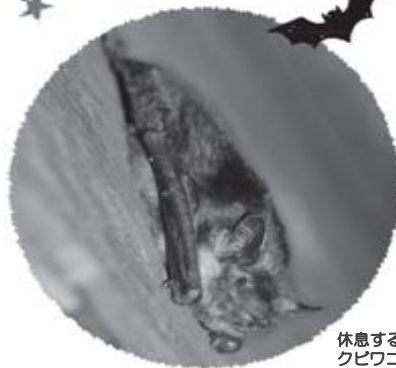
クビワコウモリを守る会

会の成り立ち

長野県乗鞍高原には、現在、国内ではここだけで大きな出産哺育コロニーが確認されている「クビワコウモリ」が生息しています。その保護を目的に1995年に設立されたのが「クビワコウモリを守る会」です。

以前、クビワコウモリがねぐらに利用していた建物が改修され、生息が危ぶまれたのをきっかけに、安定したすみかの確保（バットハウスの建設、その後の整備）などの保護活動や、クビワコウモリの啓蒙活動を目的に、コウモリの研究者やコウモリ好きの有志が集まり活動しています。

「クビワコウモリ」って？



休息する
クビワコウモリ

ヒナコウモリ科クビワコウモリ属
長野県希少野生動物、絶滅危惧ⅠB種(EN)

【分布】

長野県、岐阜県、石川県、富山県、
福島県、埼玉県、山梨県、静岡県、
東京都、群馬県、栃木県、新潟県佐渡島

日本固有種のコウモリで、休息中の個体を下から見上げると、首のまわりに首輪があるように見えるのがその名前の由来です。

本来は樹洞棲ですが、乗鞍高原では人家で確認されています。

毎年5月頃に、続々とメスのコウモリがやってきて200頭前後の大きなコロニーをつくり、ひと夏かけて子育てをします。そして10月になると母子ともに冬眠場所へ移動するため、乗鞍高原からは姿を消します。

乗鞍高原のバットハウス

クビワコウモリの大きな出産哺育コロニーが確認されていた宿泊施設が改修されることになり、その貴重な出産哺育場所を焼失させないよう、近くに巣箱を設置するなどの移住作戦が試みられました。しかし、クビワコウモリたちは期待通り移住してくれなかったで、元の場所によく似た構造をもつ施設「バットハウス」が、1996年「アムウェイ・ネイチャーセンター環境基金」からの助成を受けて建てられ、2024年「公益財団法人JAC環境動物保護財団」からの助成を受けて改修されました。



バットハウス外観



2階がコウモリ用の
スペースになっている。